

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト エントリーシート【第2次選考】(自己PR)

この枠内に写真
(上半身、正面)を
貼付すること。
(4cm×3cm)
(6ヶ月以内のもの)
写真の裏に受験
番号及び氏名を
記入して貼付し
てください。

受験番号		選考区分・出願区分		加点区分		
校種等		教科		科目		
ふりがな 氏名 (受験票と 同一氏名)				所有(見込)免許状		
				校種等	教科	取得(見込)年月
生年月日		年齢		S・H・R 年 月		
昭和 平成	年 月 日		(R6.4.1 時点)		S・H・R 年 月	
			歳		S・H・R 年 月	
学歴・職歴(中学校卒業後(中学校は含まない)から順番に記入)						
期 間		所 在 地		学 歴 ・ 職 歴		
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
S・H・R 年 月～S・H・R 年 月		都道 府県				
○志望動機について						
○教員として役立つ又は教員として役立っていると思う自らの経験(クラブ・ボランティア等)、資格、趣味、特技など						

※ 原則表面のみの記載とし、裏面記載がある場合は、両面コピーし、サイズはA4に限りませす。

【作成要領】

次のとおりエントリーシートを作成し、面接当日、2枚のエントリーシートを持参してください。

- ① 以下の【記入要領】にしたがって必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- ② 次に、写しを1部取ってください。(原則表面のみ。裏面記載がある場合は、両面コピー。サイズはA4。)
- ③ 以上、合計2枚(原本1枚、写し1枚)を持参してください。

【記入要領】

基本事項

1. 原本の記入は必ずボールペンを使用してください。インクの消えるボールペンは使用しないでください。
2. 別紙への記入や資料の添付は認めません。必要事項は、すべてこの用紙の指定欄に収まるように記入してください。
3. 書き誤ったときは、2本線で消して訂正してください。(訂正印不要)

項目別事項

1. 選考区分・出願区分、加点区分、校種等、教科(科目)は出願内容から変更できません。必ず受験票を確認してください。

① 選考区分・出願区分

選考区分・出願区分	シートへの記入
一般選考(一般対象者)	一般(一般)
特別選考(障がい者対象の選考)	特別(障がい)
特別選考(現職教諭対象の選考)	特別(現職)

② 加点区分

加点区分	シートへの記入	加点区分	シートへの記入
A;B~K 以外	A	H;看護師免許所有者	H 看護
B;社会人経験者	B 社会人	I;柔道整復師免許所有者	I 柔道
D;教職経験者	D 教職経験者	J;理学療法士等免許所有者(注)	J 理学・作業・言語聴覚
E;英語資格所有者	E 英語資格	K;社会福祉士等資格所有者(注)	K 社会・公認・臨床
F;理科教育経験者	F 理科	障がい者対象の選考	障がい
G;司書教諭資格所有者	G 司書	現職教諭対象の選考	現職

(注) J;理学療法士等免許所有者…理学療法士・作業療法士・言語聴覚士免許所有者
K;社会福祉士等資格所有者…社会福祉士・公認心理師・臨床心理士資格所有者

③ 校種等

校種等	シートへの記入	校種等	シートへの記入
小学校	小	支援学校 幼稚部・小学部共通	支援(幼小)
小中いきいき連携	小中	支援学校 小学部	支援(小)
中学校	中	支援学校 中学部	支援(中)
高等学校	高	支援学校 高等部	支援(高)
養護教諭	養教	支援学校 自立活動	支援(自立)
栄養教諭	栄教	支援学校 理学療法	支援(理学)

④ 教科・科目

校種等欄に「中」、「高」、「支援(中)」、「支援(高)」と記入した人のみ、国語、数学等の教科名を記入してください。
さらに、校種等欄に「高」、「支援(高)」と記入した人のみ、世界史、倫理、化学、機械等の科目名を記入してください。

2. 「所有(見込)免許状」の欄は、令和6年4月1日までに取得見込のものを含め、出願に必要な免許状から記入してください。所有免許状が、6つ以上あるときは、裏面に記入してください。

なお、校種等の欄には「小学校教諭一種」、「中学校教諭専修」等を記入してください。

3. 「学歴・職歴」の欄は、中学校卒業後(中学校は含まない)から時系列に沿ってすべての学歴・職歴を記入してください。

「いずれの学校にも所属せず、かついずれの仕事にも従事していない空白の期間がある」場合は、その期間を記入し、学歴・職歴欄に「在家庭(〇年〇か月)」と記入してください。(※教職歴の場合は例外あり。(2)①を参照)

なお、「学歴・職歴」欄が不足する場合は、裏面様式に記入してください。

(1) 学歴について

① 記入例

〇〇立〇〇高等学校〇〇科・卒業

↳ 退学・転出等

〇〇立〇〇大学(大学院)〇〇学部(〇〇学科・研究科)・卒業

↳ 卒業見込・修了・修了見込・退学・転出等

〇〇立〇〇大学〇〇学部〇〇学科 科目履修生・修了

↳ 修了見込・退学等

(2) 職歴について

① 「教職歴」を記入する場合における期間の考え方(講師等(非常勤講師も含む)の場合)

継続して「同一校において同職名」で勤務していた場合については、空白期間(発令と発令の間の期間)が2か月以内であれば1つの期間にまとめて記入してください。(複数年度にまたがる場合も、空白期間が2か月以内であれば、1つの期間として記入)

※ 同一校において継続して勤務していた場合であっても、職名が変わっている場合は分けて記入してください。

② 記入例

例(ア): 株式会社△△△ 正規職員

↳ 非正規職員・派遣職員等

例(イ): □□立□□学校 教諭

↳ 講師・産休臨時講師・育休臨時講師・非常勤講師等

4. 「志望動機について」の欄は、箇条書きにするなどし、簡潔に記入してください。

5. 「教員として役立つ又は教員として役立っていると思う自らの経験(クラブ・ボランティア等)、資格、趣味、特技など」の欄は、箇条書きにするなどし、簡潔に記入してください。

※ 面接テスト当日はエントリーシートのみ回収します。
(記入要領その他一切の用紙については回収しません。)